

まちづくりのオープンハウス

当日展示資料

日時： 6月25日（土） 午前10時～午後5時

場所： 片町文化センター 1階ロビー



分倍河原周辺地区におけるまちづくりの経緯について、地区の課題から順を追って分かりやすくご説明しました。



1 地区の課題について

■ まちづくりの経緯

地区の課題

まちづくり提案書の提出

まちづくり基本計画の策定

各施策の進捗

駅前空間の整備

・ 樹木等による歩行者空間の不足（分梅通り）



①

・ 幅員が狭く、線路の横断が必要な駅北西から駅へのアクセス道路
 ・ 線路による地域分断
 ・ 災害時の避難救助経路の確保が必要



②



③

・ 駅構内の混雑や分かりづらい動線など利便性・快適性への課題



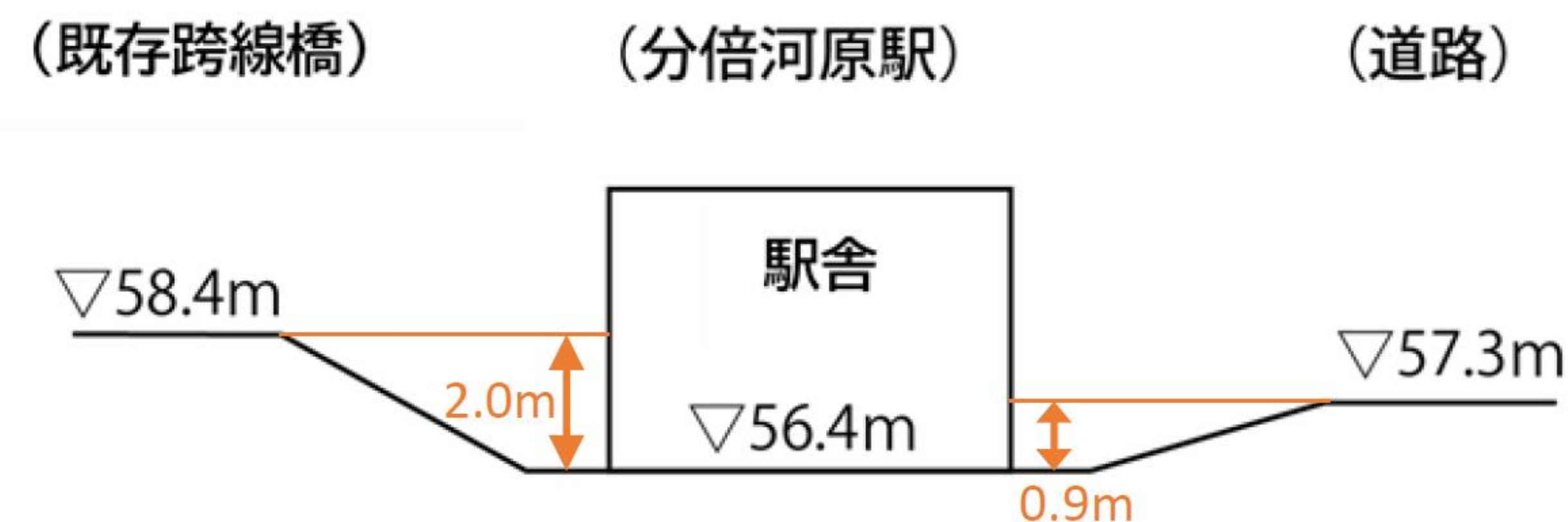
④

地区課題図



◆ 崖線等による高低差によるまちの課題

⑧



● 地区の東西を横断する崖線による約7mの高低差を含む地形により、駅周辺の回遊性及びにぎわいの広がり課題

● 駅から跨線橋まで約2mの高低差があり、跨線橋までの通路はバリアフリー基準を満たさない急勾配



・ 混雑した駅前
 ・ 緊急車両の折返しが困難
 ・ 災害時の退避空間の不足



⑤

・ 設置から40年以上経過し、老朽化（南北にまたがる既存跨線橋）

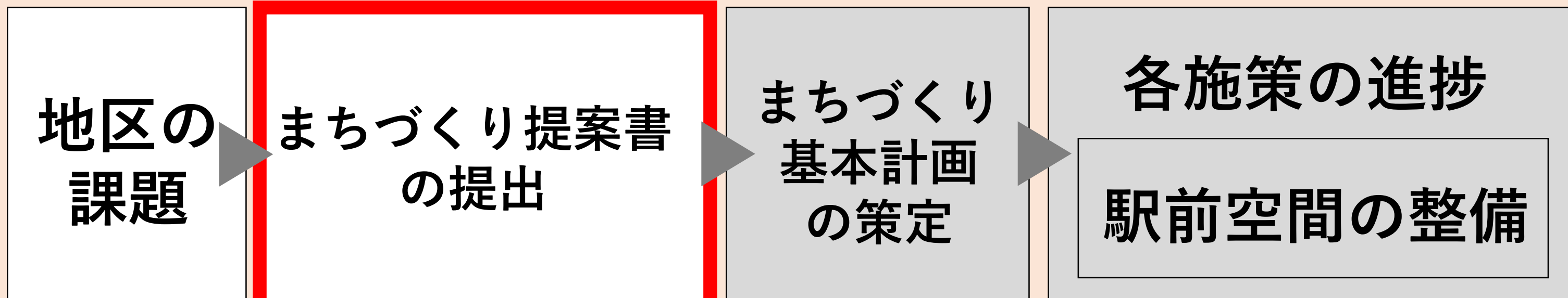


⑥

・ 歩行者空間の不足
 ・ 自転車走行空間の改善（市道4-139号）

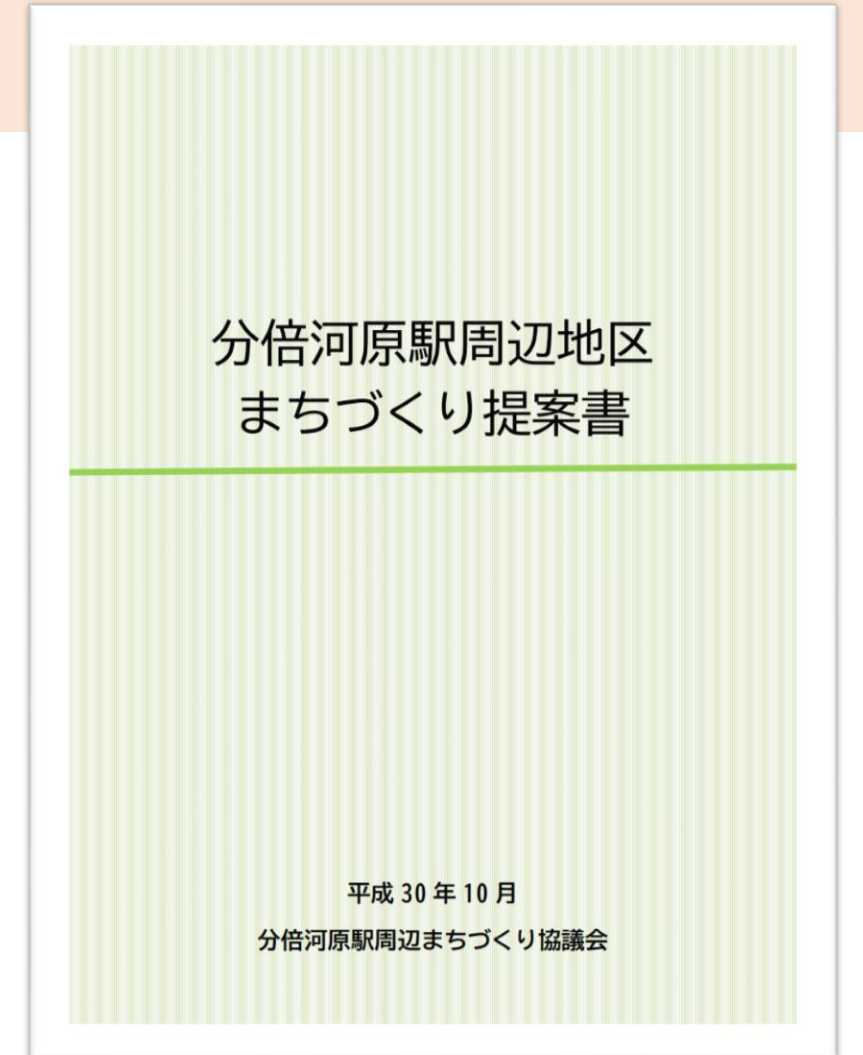


⑦



2 まちづくり提案書の提出

地域の課題解決に向けて、
 地元の自治会や商店会等によって
 組織されたまちづくり協議会により、
 地域の方々の意見を踏まえた、
 まちづくりの提案書が市へ提出されました。



◆ 検討経過

H29年1月 分倍河原駅周辺まちづくり協議会の設立

H29年11月 他地区見学（世田谷区の祖師ヶ谷大蔵周辺）

H30年3月 まちづくり提案書（案）の意見募集（7件）

H30年7月 まちづくり提案書（案）の説明会（50名）

H30年11月 まちづくり提案書の提出（まちづくり協議会から市へ）



◆ 提案書の内容（抜粋）

（1）活気ある駅周辺・駅前空間の形成

- 駅舎の改良
- 人のための駅前広場の確保
- 東西動線の整備
- 南北のつながりの強化

（2）にぎわいの創出や災害時の連携

- 駅前空間を活用したイベントの実施
- 南側駅前広場に隣接する公園の改良

（3）誰もが安心して買い物ができる商店街通りの形成

- 自転車や自動車の通行や駐輪・駐車スペースの確保等

（4）歩行者や自転車が安全に通行できる外周道路、地区内道路の整備

- 分梅通りの歩行空間の改善
- 市道4-139号(高安寺西側の道路)の歩行空間の改善

（5）ゆとりある良好な住環境の保全

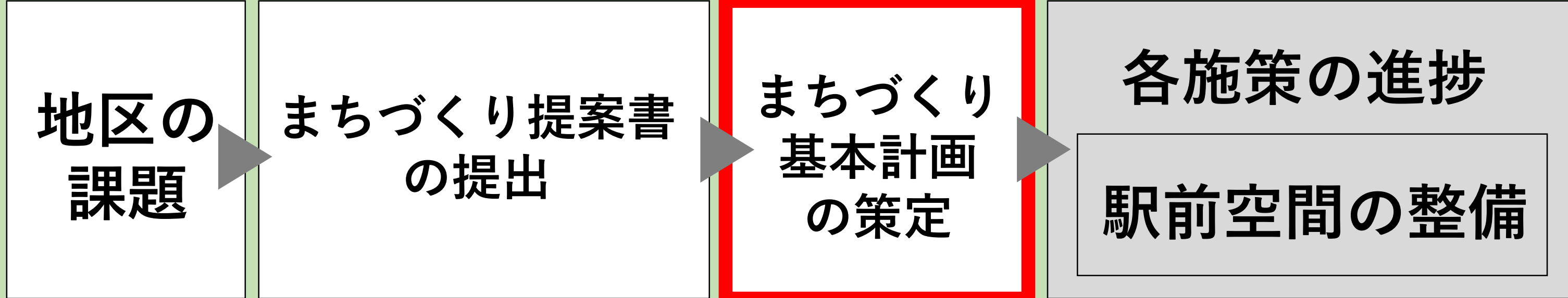
- 敷地の細分化を防止するなどの建替えのルールづくり

（6）府中崖線の自然や歴史を生かした景観形成

- 歴史的資源と調和した景観形成

地元から、駅舎の改良、東西・南北自由通路の整備、駅前溜まり空間（広場）の整備などが提案されました。





3

まちづくり基本計画の策定

地元からのまちづくりの提案を踏まえ、分倍河原駅周辺地区の将来像を実現するため、協働によるまちづくりを目指し、分倍河原駅周辺地区まちづくり基本計画を令和2年7月に策定しました。



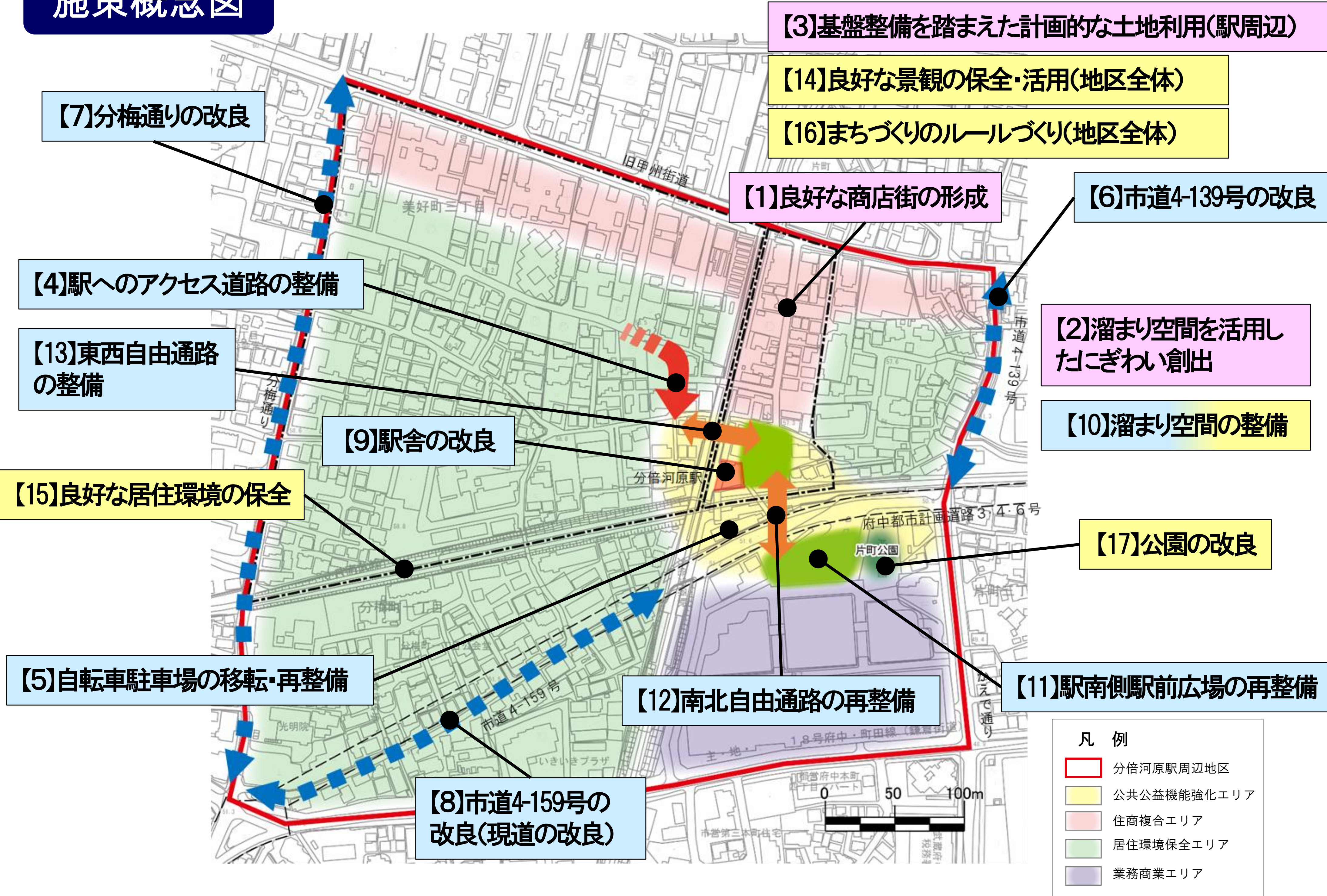
将来像：「にぎわいがつながらり・ひろがる 歩行者中心の 人にやさしい コンパクトな」まち

方針1：生活サービスが整い、多くの人たちでにぎわうコンパクトなまち

方針2：誰もが安全・便利に移動できる歩行者中心のまち

方針3：交流や憩いの場があり、安らぎを感じられる人に優しい快適なまち

施策概念図



地区の
課題

まちづくり提案書
の提出

まちづくり
基本計画
の策定

各施策の進捗

駅前空間の整備

4 各施策の進捗について

駅へのアクセス道路

- 歩行者が駅へ安全で快適にアクセスできる道路を整備します。
- 整備する範囲を決める設計等を進めています。

東西自由通路

- 駅とのアクセス性が向上する通路を線路上空に整備します。
- 京王電鉄と協議し、構造などについて検討を進めています。
- 踏切は、京王電鉄が閉鎖を検討しています。

溜まり空間

- 人が待ち合わせや、イベントで活用する空間を整備します。

市道4-139号

- 道路を拡幅し歩行者が安全に通れるよう整備します。
- 整備する範囲を決める設計等を進めています。

分梅通り

- 歩道の樹木を伐採し、歩行者が安全に通行できる空間を確保します。

分倍河原駅

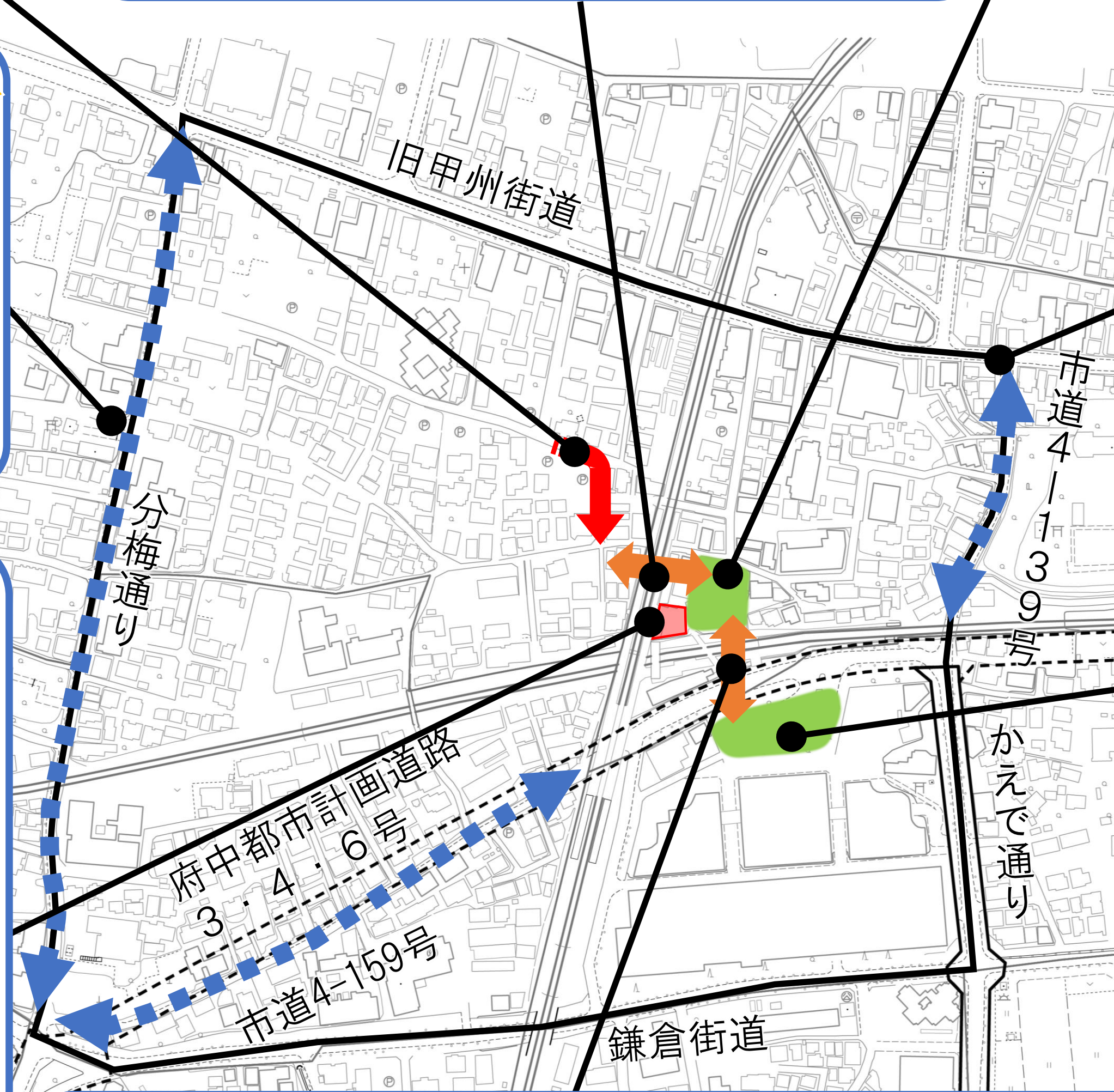
- 自由通路や溜まり空間の整備に合わせて駅舎を改良します。
- JRと京王電鉄において、駅前空間の整備に合わせて、施設の規模や配置などについて検討を進めています。

南側の駅前広場

- 鉄道からバスやタクシーに乗換えがしやすく、快適に利用できる広場を再整備します。

南北自由通路

- バリアフリー化された通路を線路上空に整備します。
- JRと協議し、構造などについて検討を進めています。

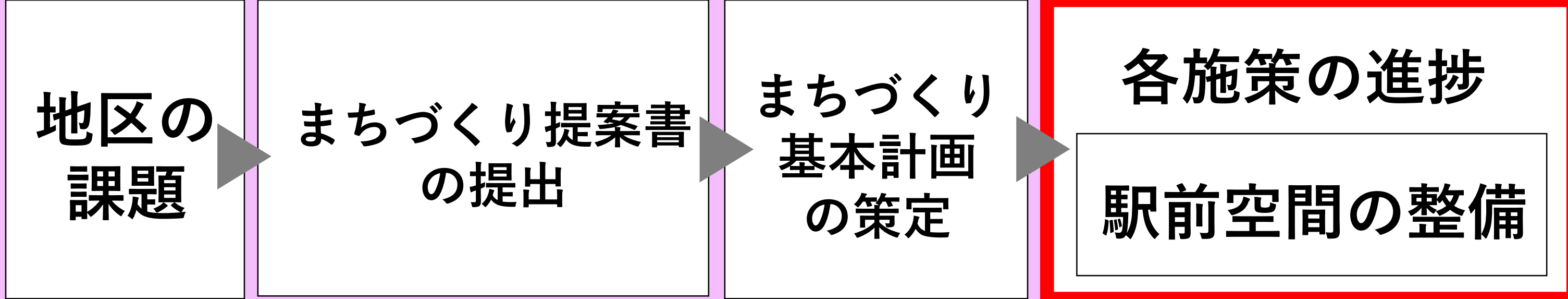


★の施策は、次のパネルで詳しく説明します。

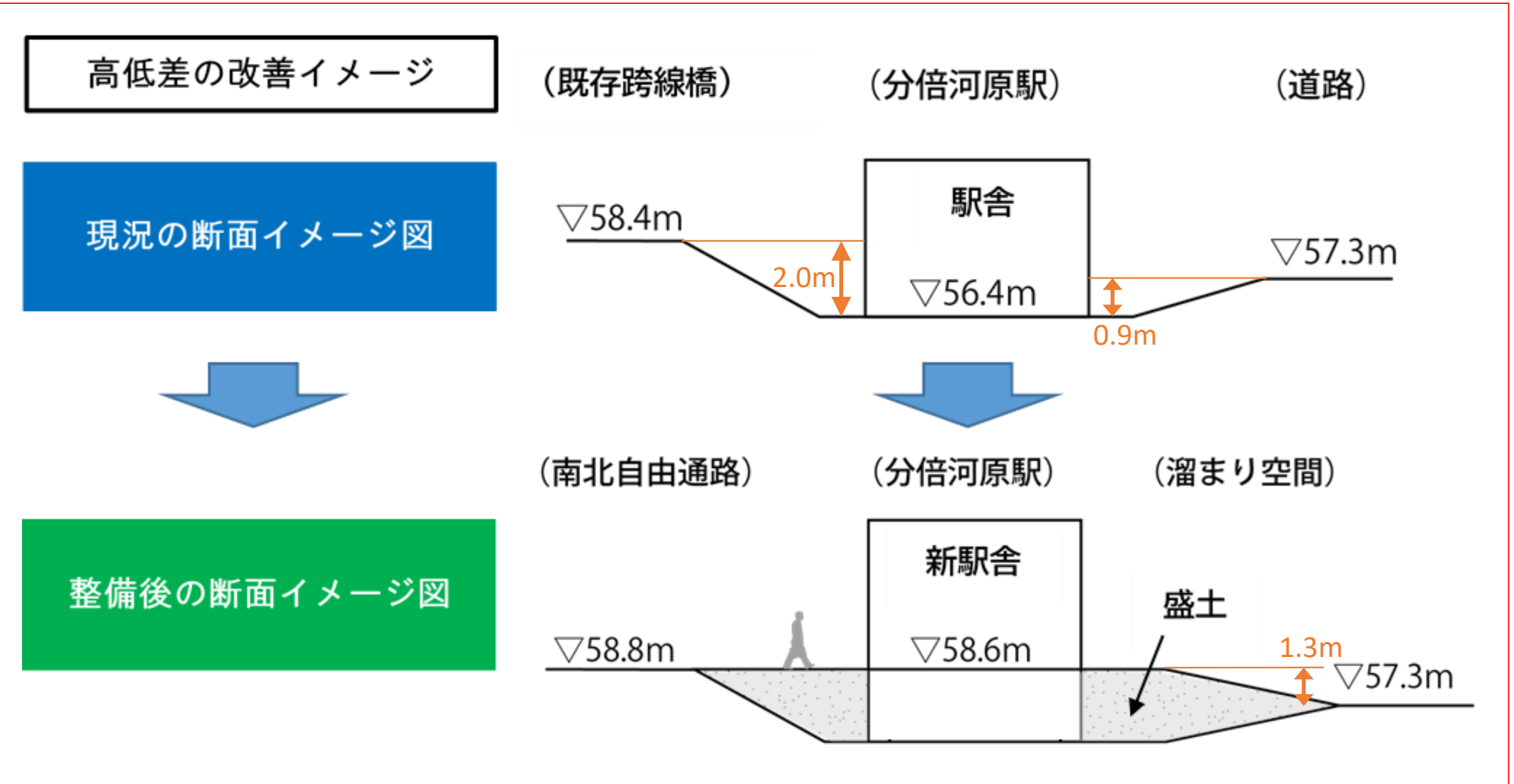
地元からの提案内容とまちづくり基本計画の施策はリンクしているんだね！
駅の周辺だけではなく、地区の外周道路の改良も着々と進んでいくんだ！



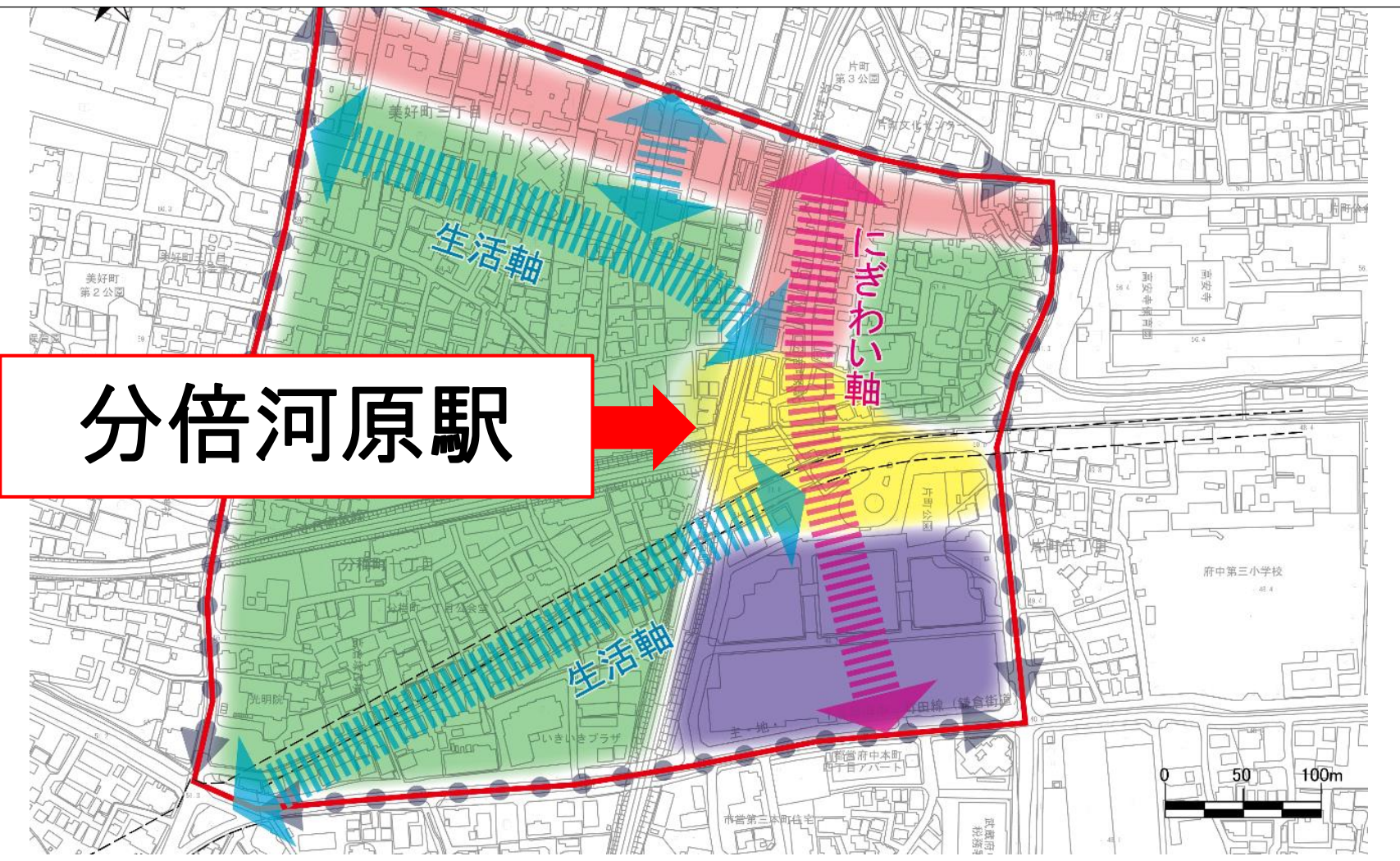
■ まちづくりの経緯



5 駅前空間の整備

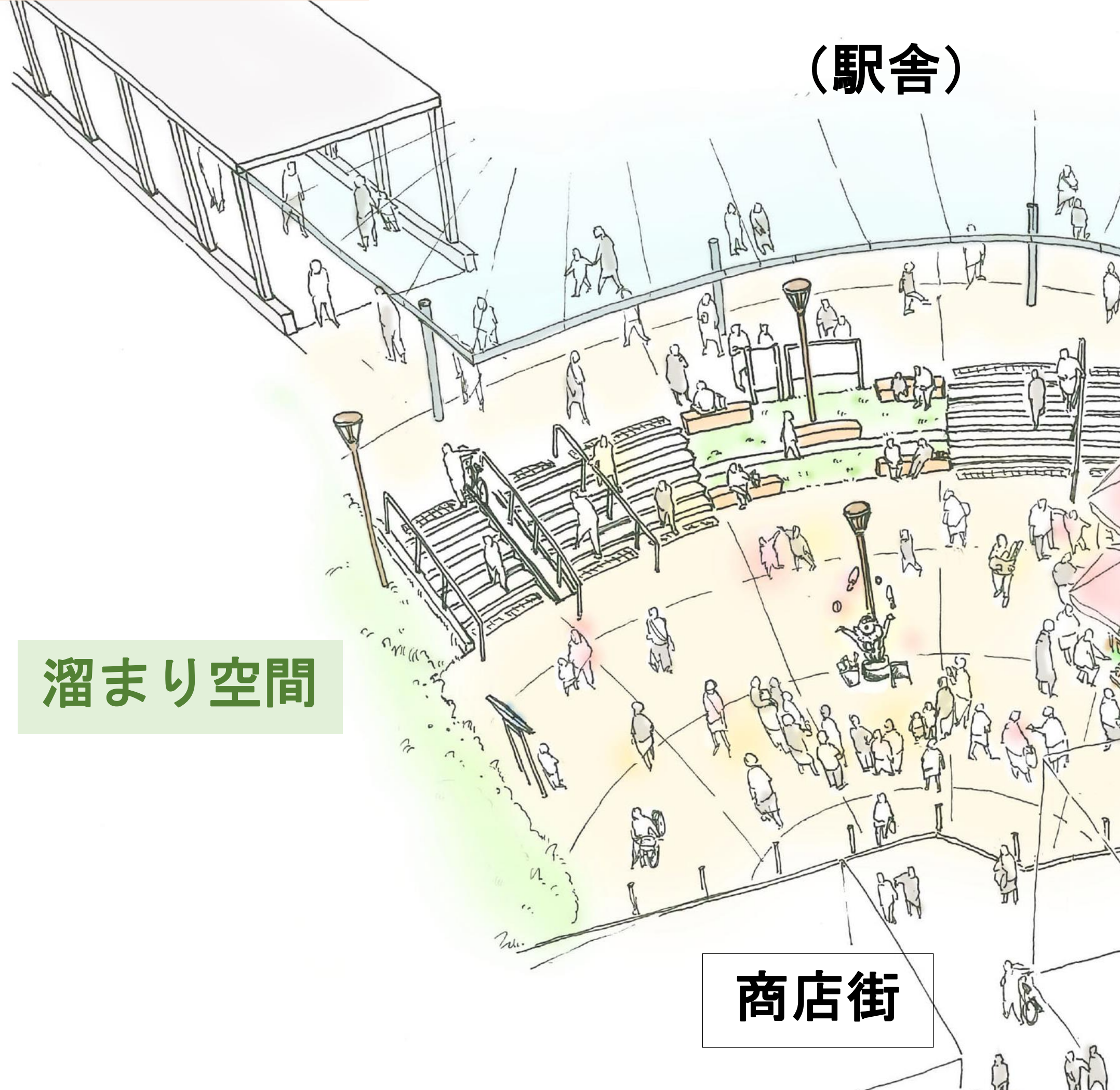


【歩行者ネットワークについて】※基本計画抜粋



- ◆ **にぎわい軸**…商店街～駅～駅前広場～商業・業務施設を結ぶ、地区の根幹となる軸
- ◆ **生活軸**…駅周辺の住宅地等から駅前空間にアクセスする、日々の生活を支える軸

南北自由通路



東西自由通路

※ 現時点での駅前空間の完成イメージ図となりますので、今後の検討により変更する場合があります。

■ **東西自由通路の新設**
 …駅北西部と駅とのアクセス性の向上及び生活軸を形成するための東西自由通路を新設
 ※現時点で自転車の通行は予定しておりません。

■ **南北自由通路の再整備**
 …既存のこ線橋を撤去し、にぎわい軸を形成する南北自由通路を再整備
 ※現時点で自転車の押し歩きが可能となる予定です。

■ **溜まり空間**
 …歩行者が待機する場所や、救援活動を行う空間を確保するための緊急車両の転回スペース等にも配慮した、安全で快適な歩行者のための空間を整備
 ※災害時には数百人の待機が可能となる整備範囲を計画するとともに、平常時にはにぎわいを創出するイベントの実施も想定しています。

地区の
課題

まちづくり提案書
の提出

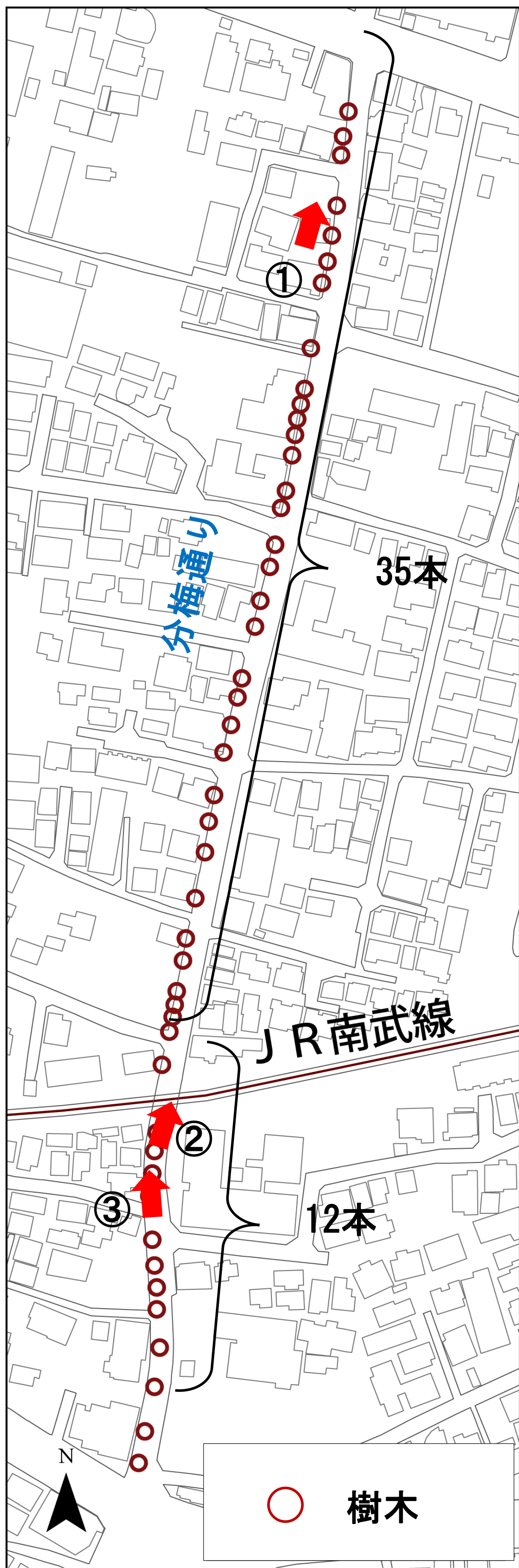
まちづくり
基本計画
の策定

各施策の進捗
駅前空間の整備

6 分梅通りの改良

課題と整備方針

分梅通りの現況断面図

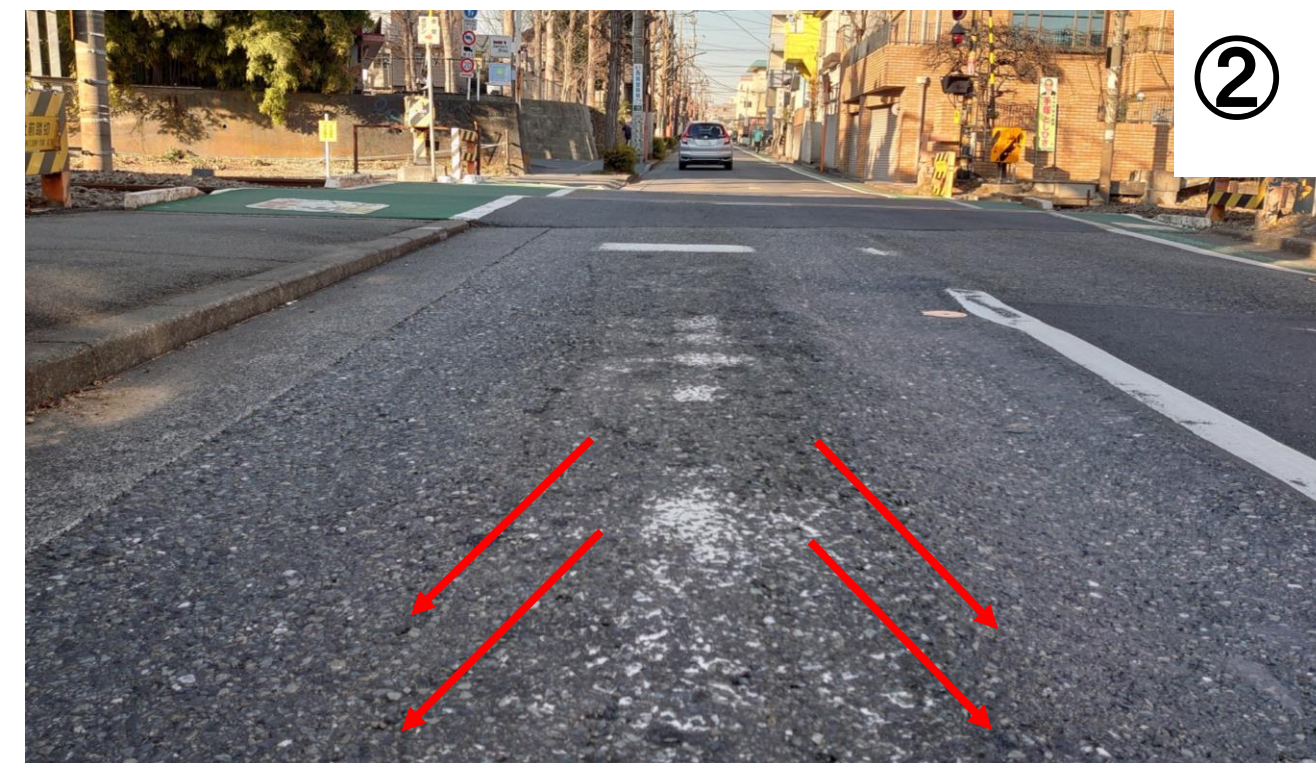


課題

分梅通り西側の約2mの片側歩道は、**街路樹**により、福祉のまちづくり条例で定める有効幅員を満たすことができていない。

対策

⇒**街路樹の伐採**を行います。条例の基準値以上となる1.5m以上の幅員を目指します。



課題

JR南武線踏切前後の車道に車輪による凹み（**わだち掘れ**）が生じている。

対策

⇒**車道の打ち換え**を行います。



課題

街路樹により、歩道に一部**根上り**していることで段差が生じている。

対策

⇒**舗装の張り替え**を行います。また、併せて植栽ますの撤去を行います。





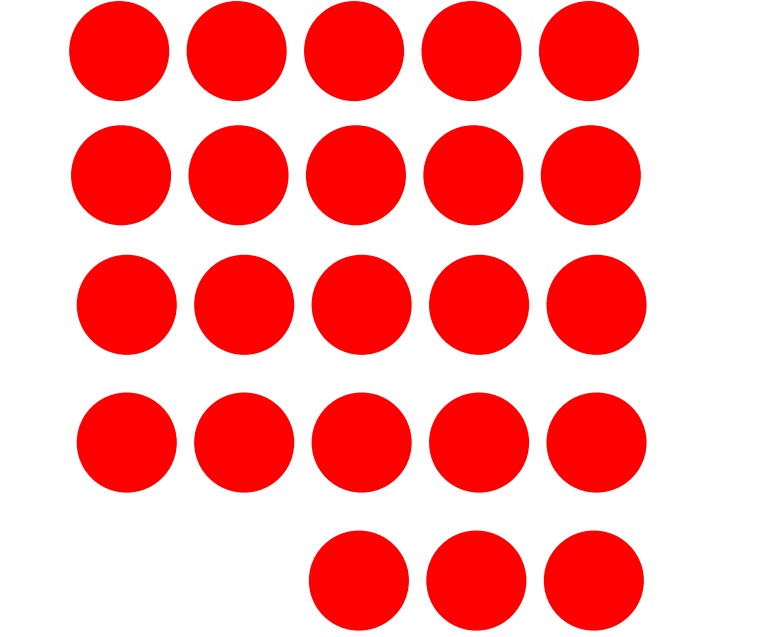
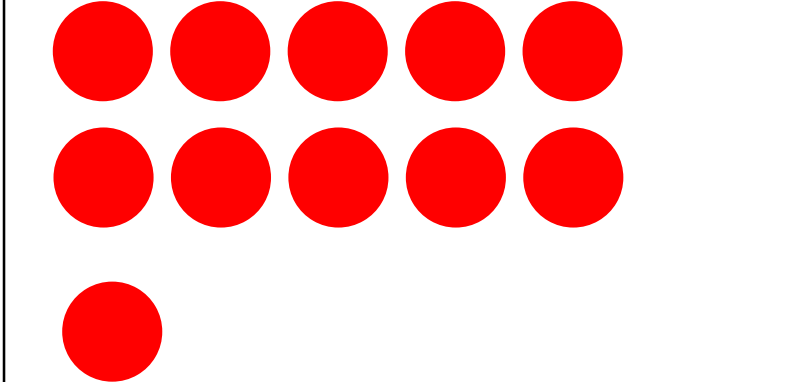
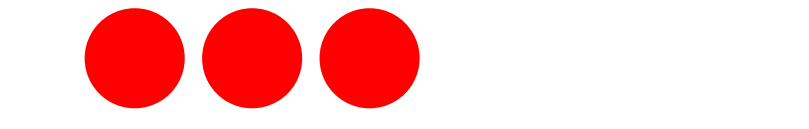
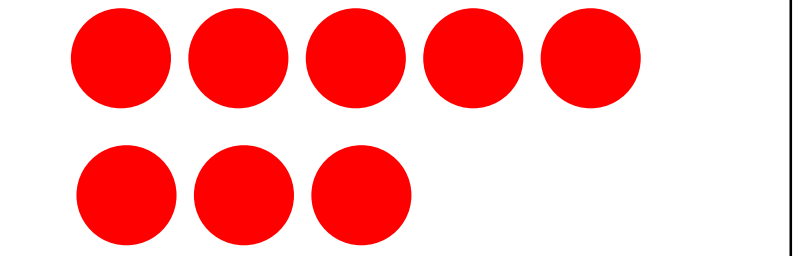
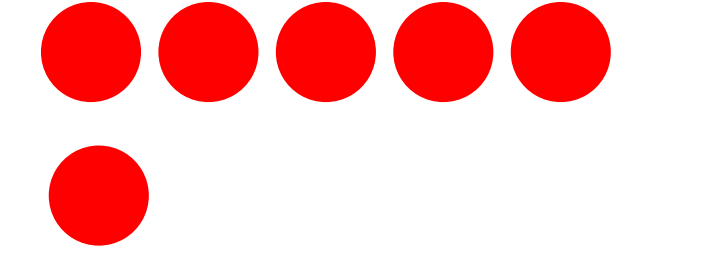
分梅通り工事は、**今年度着手を予定**しています。歩行者中心のまちづくりを進めるため、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いします。



7

最後に皆様のご意見をお聞かせください！

① 分倍河原駅周辺地区のまちづくりについての情報はどこで知りますか？

まちづくりニュース	オープンハウス	市のHP	口コミ	その他
				例 ・テレビ広報 ・片町文化センターなど
				

② 今後のまちづくりの情報発信について

今後は、バーチャル・リアリティ（パソコン上で動作する3D画像）を作成し、まちの整備前後のイメージを分かりやすくお伝えしていくことを予定しています。
作成した3Dデータを用いて、オープンハウス等の説明会も検討していきますので、ぜひご参加ください。



▲VRの参考画像

※分倍河原のイメージ図ではございません



バーチャル・リアリティを活用することで、**まちの整備前後がイメージしやすくなり**、様々な課題と解決方法を共有しながら、地域の皆さんと一体となってまちづくりを進めていきます。